



いなほ

稲積神社社報
第2号



年を迎えて

稲積神社

宮司 根津成雄

新しい良年を迎えて下さい。

今年はおかげを頂いて、健康で頑張ろうとか、今年こそは、「これこれの願い」をもって努力を重ねて良い年にしようとか、新年を迎えて一年の計画を立てて思いをあらためますが、このことは日本人のすぐれた生活の知恵だと思えます。生かされて生きる生命の尊さ^{よのつね}という心を新しい年も一層あらわして頂きたいと思えます。尋常^{よつね}ならず、すぐれたる徳^{とく}のありて可畏物^{かしこま}を迎微^{むかひ}とは云なり

本居宣長は、日本人の本来の心である「やまとごころ」を読みとりました。そして「古事記伝」という書物を著しました。これはこの中の一節です。「神」とは「古事記」などの古典にみえる天地諸神をはじめとして、神社にまつられる神、また人はもちろん鳥獣木草や海や山など、何でないすぐれた徳、霊具があつて、おそれおおいような存在をいうのです。神の御恵は、私たちの気づかぬ所までいきわたる、広く篤いものに違いありません。初日と共に精進し御恵をお受け下さい。

あしあと

「どこいしよの正の木祭
賑やかに祭りされる」

去る五月二日より五日まで平成六年度、稲積神社正の木例大祭が好天に恵まれ盛大に斎行されました。

例大祭は二日の前夜祭、商工会議所奉納による献木祭に始まり、三日例大祭、神輿渡御、奉納相撲、崇敬青年会主催によるカラオケ大会、雅楽演奏会など多彩な神賑行事が行われ多勢の参拝者でにぎわいを見せました。

中でも神輿渡御は崇敬青年会、稲積陸会の努力により、山梨のみこしといえは「正の木さんのみこし」といわれるほどすばらしいみこしでした。又、毎年、御旅所として御協力下さいます総代様を始め湯田町、太田町の崇敬者の皆様に心より御礼申し上げます。

県内外より多勢の参拝者のある正の木祭にとって駐車場確保が長い間の懸案でありましたが、今年は湯田小学校の御協力を頂き運動場を駐車場としてお借りする事が出来ました。整理には、崇敬青年会、

ソフト部員の皆様に御奉仕いただき、事故も無く無事に祭を治める事が出来ました。御奉仕いただいた皆様方へ心より御礼申し上げます。(大祭初穂料奉納者御芳名簿は次号に掲載させていただきます)



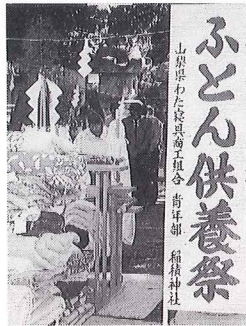
ふとんに感謝
供養祭行なわれる

山梨県わた寝具商工組合主催による、第八回「ふとん供養祭」が十月二日斎行された。今年で八回目となるこの供養祭は寝具週間(十月一日寝

具の日)のメインイベントとして当神社で行なわれているもので、安眠と健康づくりを助けてくれた布団に感謝する祭である。

当日は県内各地より不用になつた古い布団がたくさん持ち寄り、お祓い・祝詞の後、清浄なる火で焚き上げられた。

この供養祭は、同組合青年部が企画したもので全国的にもほかに例のない祭であり、今後、供養祭が定着し、益々の発展が期待される祭である。



全国氏子青年協議会
第三十二回大会に参加して

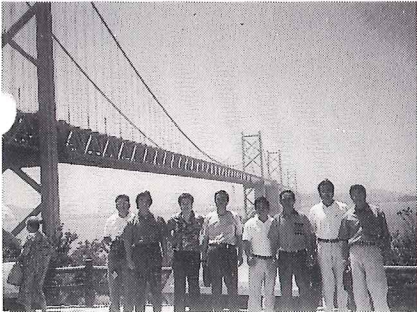
崇敬青年会長 樋川 久

盛夏の候。七月九・十日に四国香川県香川町「ホテル・マツイノパレス」で開催された全国大会に、今年は久々に藤澤顧問も、同行していただき、総員八名での参加となりました。定期総会の席上、山

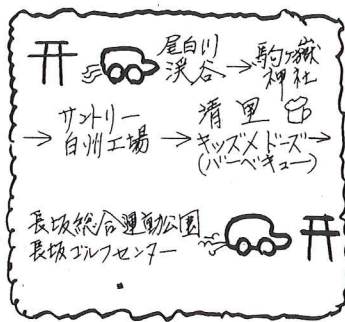
梨泉氏子青年協議会が、「認証書」を賜わり、我らが氏青佐藤会長が壇上に取りました。香川県は、水不足の真只中で、全国大会終了後の十一日より時間給水制限が始まる事が決まっております、主催側の苦労がしのべれます。

広旗神社正式参拝後の境内にての本場讃岐うどんの味は色々な意味で、一生忘れられないほどの美味しいうどんでした。

レセプション等公式行事を無事終了後は、ゴルフ組と観光組に分かれて、灼熱の四国の夏を楽しみ、疲れて金比羅さんで再び合流して、さらに会員相互の親睦を深めてまいりました。



ソフト部親子親睦会開催
今回で二回目となるソフト部親子親睦会が去る八月二十一日に十五名の部員家族の参加を得て行なわれた。(行程)



ソフト部、バーベキュー

湯田小一年 どひ あらた
ことしのなつやすみに、ソフト部の人たちと、バーベキューにきました。

おさけのこうじょうへいたり、バスへのつとてもたのしかったです。かえりにあそびました。つりばしはさいしょこわかったです。でも、さいごはこわくなくなりました。かえりに雨がふってききました。ぼくは、すこし、びしょぬれになりました。らいねんもまたいきたいです。



ゴルフコンペ開催

稲積神社関係者による、第一回目の親睦ゴルフ大会が、去る七月十九日に丘の公園清里ゴルフコースに於いて行なわれた。

参加者は文字通り日頃より神社の為に御奉仕いただいている、総代様、稲積神社甲府伊勢講、崇敬青年会、神社ソフト部、崇敬者、神社職員の方々、総勢十六名が参加した。当日は絶好のゴルフ日和に恵まれ、塩島総代様の始球式



稲積神社関係者ゴルフ大会
H.6.7.19 於 丘の公園清里ゴルフコース



によりスタートした。珍プレー、好プレーが続出し終始なごやかに進み、全員無事にラウンドが終了、割烹きよ春にて、表彰式、反省会を行ない第一回のゴルフコンペが無事終了した。映えある第一回優勝者は稲積陸会の清水久様が、ベストスコアで勝ちとりました。第二回大会は、来年春を予定、どなたでも参加できますので、この冬に大いに自主トレに励んでいただき、次回をおたのしみに!!

雅楽

始めてみませんか!!

稲積神社雅楽会からの御案内

昭和六十年四月に発会し、今年で十年を迎える当雅楽会も、会員の皆様にささえられ充実してまいりました。

雅楽というとお正月の音楽、神社の音楽、あるいは、結婚式の音楽というぐらいに受ける人も多いかと思えますが、雅楽とは、天皇を頂点とする貴族社会を基盤として歴史を刻んで来た音楽芸能の総称ということです。そして、三種に大別されます。

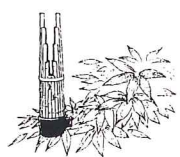
一、大陸伝来ではなく、日本固有のものとして扱われているもの、すなわち、神楽、東遊、倭歌、大歌、大直日歌、田歌、久米舞の七種目、いずれも、皇室の宗教的な儀式に用いられてきたものであるが種目によっては神社等でも行われた。

二、大陸から伝来した舞踊と音楽、すなわち舞楽、音楽のみについていえば、

唐楽と高麗楽である。舞楽は、江戸時代までは、主として職業音楽家が伝承し、宗教的、非宗教的儀式に用いられたほか、純粹の鑑賞芸能でもあった。

三、(一)における歌とは別に、貴族とその周辺で歌われた音楽、具体的には、催馬楽と朗詠の二種目。三種に大別されるこれらの種目はいづれもかけがえのない伝統芸能であり音楽です。この伝統ある雅楽を始めてみたいと思われる方は是非御参加下さい。

毎週水曜日午後五時から七時まで稽古をおこなっています。詳しくは、社務所にお尋ね下さい。



職員紹介



権 祢 宣
篠原 康 正

六月一日

昭和三十三年三月五日生
六月一日をもって稲積神社権祢宣を拜命戴きました、篠原康正です。



権 祢 宣
保 田 俊

六月一日

昭和三十年三月五日生
私儀、六月一日付をもちまして、稲積神社権祢宣を拜命頂きました。まことに未熟者ではございますが、誠心誠意神命奉仕に精励し、崇敬者の皆様の繁栄と稲積神社の発展を祈り斯道に努めたいと存じますので、今後、宜しくお願ひ申し上げます。

